オホーツク連携地域「地域づくり推進ビジョン」

Ⅰ 地域のめざす姿

〈概ね１０年の地域のめざす姿を示しています。〉

全道でも有数の生産量を誇る農林水産資源や知床世界自然遺産・流氷などの優れた地域資源を活かし、自然と共生する快適な暮らしが広がる「オホーツク連携地域」

大規模で生産性の高い畑作や酪農、国内有数の生産力を誇るホタテ・サケの栽培漁業、森林認証材の利用促進など、豊富な農林水産資源を活用した地域産業の振興を図ります。

知床世界自然遺産や流氷などを活かした観光の展開、国宝「北海道白滝遺跡群出土品」やモヨロ貝塚など地域の宝である歴史・文化の継承、気候特性を活かしたスポーツ合宿の誘致などを通じた関係人口の創出・拡大を図ります。

人と自然が共生し、持続可能で活力あるオホーツク地域の形成を図ります。

■　連携地域の主な施策の方向（今後５年程度）

１　オホーツクイメージの効果的な発信	２　農林水産業の強化	３　豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興	４　特色ある豊かな資源を活かした観光の展開	５　人と自然が共生できる環境重視型社会の形成
・地域の特色を活かした効果的な情報発信の推進	・ＩＣＴを活用した農林水産業の生産体制の整備と担い手の育成・確保 ・ＨＡＣＣＰの認証取得などによる良質な農水産物の販路の拡大 ・オホーツク産木材・木製品の利用促進 ・栽培漁業の推進	・多様な主体の連携による付加価値の高い商品の開発 ・食の地域ブランドの形成・発信や国内外への販路の拡大	・知床世界自然遺産、流氷や季節を彩る花など、オホーツクの有する魅力の効果的な発信 ・豊かな自然環境や農林水産業、スポーツ・文化などを取り入れた体験型・滞在型観光の推進 ・国内外の観光客に対する受入体制の整備	・鳥獣被害の防止に向けた取組の推進 ・北海道知床世界自然遺産条例に基づく知床の保全や適正な利用の推進 ・林地未利用材や家畜排せつ物など、地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入促進

オホーツク連携地域「地域づくり推進ビジョン」

Ⅰ 地域のめざす姿

〈概ね１０年の地域のめざす姿を示しています。〉

■　連携地域の主な施策の方向（今後５年程度）

６　オホーツクの特性を活かした文化・スポーツの振興	７　安心して暮らせる地域社会の形成	８　オホーツク地域への人口定着の推進	９　暮らしや産業を支える交通ネットワークの形成	
・古代遺跡群を体験する機会の創出などによるオホーツク文化の普及 ・広域的なスポーツイベントの推進や幅広いスポーツ合宿の誘致	・医療従事者の確保や新興感染症の発生に対応した地域医療提供体制の充実 ・出産・子育て支援など、周産期医療や保健福祉の充実 ・高齢化社会に対応した地域包括ケアシステムの推進 ・防災関係機関や住民などの協働による災害に強い地域づくりの推進	・関係人口の創出・拡大や移住・定住の促進 ・若年層を中心とした地元愛醸成の促進	・公共交通の利用促進や維持・確保に向けた取組の推進 ・観光や物流、地域間交流を支えるための道路網や港湾等の整備推進	

オホーツク連携地域「地域づくり推進ビジョン」

II 地域の現状・課題

1　オホーツク統一イメージの形成・発信

・これまでの１８市町村均一的なＰＲに加え、観光資源や産業構造の多様性を活かした分野別・圏域別の取組を管内一体となって推進していく必要があります。

2　農林水産業の強化

・農業における担い手不足や高齢化が一層進行する中、経営面積の規模拡大も急速に進んでいることから、 地域農業の生産基盤を安定させ、食料自給率の向上に一層寄与していくために引き続き、担い手の育成・確保及びスマート農業の推進に取り組む必要があります。
・オホーツク産木材の認知度向上に取り組むとともに、カラマツ・トドマツといった人工林資源に加え、回復傾向にある広葉樹材など地域材の安定的な供給体制を構築し、オホーツク産木材・木製品の利用促進に取り組む必要があります。
・林業労働力の不足に対応し、新たな技術を活用して効率的に作業を行うスマート林業の推進に取り組む必要があります。
・漁業就業者は減少傾向にあるため、後継者対策に取り組む必要があります。
・サケの漁獲量の安定的な確保に向け、増殖・回帰率向上に取り組む必要があります。
・水産物の安定的な生産に向け、栽培漁業を推進していく必要があります。
・ＥＵ－ＨＡＣＣＰ加工場の増加により海外向け販路を拡大する必要があります。

3　豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興

・新規学卒者等若年者の地元企業への就職促進や職場定着に向けた取組の強化を図る必要があります。
・オホーツク地域の食ブランド向上に向けた継続的な取組及び効果的な発信に取り組むとともに、商品の磨き上げや新たな販路拡大、企業・人材の掘り起こし及び育成に取り組む必要があります。
・オホーツク産農畜産物の高付加価値化やＰＲに取り組む必要があります。
・地域の輸出実態や意向を把握し、地域の輸出拡大に向けた支援を行うとともに、食育の推進による地産地消の促進に取り組む必要があります。
・カラフトマスなどの魚種についてもブランド化を図っていく必要があります。

4　特色ある豊かな資源を活かした観光の展開

・更なる交流人口や関係人口の創出・拡大のため、情報発信の強化を図る必要があります。
・新型コロナウイルス感染症の影響等により落ち込んだ観光需要が回復する中、地域の有するポテンシャルを活かし、新たな需要の獲得に向けて観光の振興に取り組んでいく必要があります。
・観光客のさらなる利便性の向上を図るには、北見市と網走市が高規格道路で接続されることが求められ、早期の完成が必要となります。

オホーツク連携地域「地域づくり推進ビジョン」

II 地域の現状・課題

5　人と自然が共生できる環境重視型社会の形成

・エゾシカの生息数が依然として多いことから、継続して捕獲を進めていく必要があります。
・バイオマスなどの地域の特性を活かした再生可能エネルギー等の導入を促進していく必要があります。
・オホーツク地域には、世界自然遺産に登録された知床と阿寒摩周の２つの国立公園、ラムサール条約登録湿地の濤沸湖を含む網走国定公園のほか、２つの道立自然公園など自然環境に恵まれ、特に知床は、国内のみならず世界から注目されており、地域の特性を活かした自然共生社会、資源を最大限に利用する循環型社会を形成する必要があります。

6　オホーツクの特性を活かした文化・スポーツの振興

・新型コロナウイルス感染症の「５類感染症」移行後の行動制限解除を契機として、合宿参加者数の増加を図るため、管内市町村と連携し、気候特性など合宿適地であることについてＰＲに取り組んでいく必要があります。

7　安心して暮らせる地域社会の形成

・医師をはじめとした医療従事者の確保対策や、地域医療構想の実現に向けた、より一層の協議を進めるとともに、新興感染症の発生に対応した地域医療提供体制の充実を図る必要があります。
・地域で子育てを支援する体制の強化と関係機関との効果的な連携が必要です。
・医療、介護に係る社会資源の充実や人材の確保とともに関係機関の連携強化が必要です。
・感染症等の発生などによる健康危機管理時に対応できる医療・介護連携の体制整備に取り組む必要があります。
・関係機関との情報共有を図り、感染症対策等を踏まえた防災体制の充実・強化を図る必要があります。
・災害の少ないオホーツクにおける地域住民の防災意識を高めるため、引き続き、防災訓練等の活動に取り組む必要があります。
・長期的な視点で、若年層を中心に地元愛の醸成を促していく必要があります。
・都市圏で地方への移住に対する関心が高まっていることなどから、管内市町村や移住・定住関係機関と連携しながら、移住・定住の促進に向けた取組の強化を図る必要があります。

8　暮らしや産業を支える交通ネットワークの形成

・鉄道･バス･航空事業者等や地域の関係者と連携し、公共交通の更なる利便性向上に向けて取り組む必要があります。
・持続的な公共交通網の確立のため、鉄道路線の利用促進の取組や運転手確保に向けた取組など、地域の関係者が連携した一層の機運醸成に取り組む必要があります。
・ＬＣＣや国際線などの新規路線誘致を含めた空港の機能強化について関係者と連携して推進する必要があります。
・広域分散型社会の北海道においては、経済、生活、生命を支えるために、高規格道路など交通ネットワークの形成をはかる必要があります。

オホーツク連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

オホーツク連携地域 地域重点プロジェクトの各プロジェクトの概要

推進主体：国（赤字）、道（青字）

項　目	1　地域イメージ	2　一次産業	3　食関連産業	4　観光	5　環境
地域のめざす姿	1　オホーツクイメージの効果的な発信	2　農林水産業の強化	3　豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興	4　特色ある豊かな資源を活かした観光の展開	5　人と自然が共生できる環境重視型社会の形成
地域重点プロジェクトの各プロジェクトの概要	1－（1）豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興プロジェクト	2－（1）食料安全保障を支える農業・水産業・食関連産業の持続的な発展プロジェクト	3－（1）食料安全保障を支える農業・水産業・食関連産業の持続的な発展プロジェクト 【再掲】2－（1）	4－（1）観光立国を先導する豊かな自然を活かした観光地域づくりプロジェクト	5－（1）自然共生社会・循環型社会の形成プロジェクト
	1－（2）多様な地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクト	2－（2）省力的・効率的な生産体制の整備などによる農林水産業の強化プロジェクト	3－（2）豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興プロジェクト 【再掲】1－（1）	4－（2）多様な地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクト 【再掲】1－（2）	5－（2）豊かで優れた自然と共生する脱炭素型の地域づくり推進プロジェクト

オホーツク連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

オホーツク連携地域 地域重点プロジェクトの各プロジェクトの概要

推進主体：国（赤字）、道（青字）

項　目	6　文化	7　暮らし		8　社会基盤	
地域のめざす姿	6　オホーツクの特性を活かした文化・スポーツの振興	7　安心して暮らせる地域社会の形成	8　オホーツク地域への人口定着の推進	9　暮らしや産業を支える交通ネットワークの形成	
地域重点プロジェクトの各プロジェクトの概要	6－（1）観光立国を先導する豊かな自然を活かした観光地域づくりプロジェクト 【再掲】4－（1）	7－（1）生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靭な国土づくりプロジェクト	8－（1）生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靭な国土づくりプロジェクト 【再掲】7－（1）	9－（1）北海道型地域構造を支え、世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成プロジェクト	
	6－（2）多様な地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクト 【再掲】1－（2）	7－（2）オホーツク地域を支える人材の確保・定着推進プロジェクト	8－（2）オホーツク地域を支える人材の確保・定着推進プロジェクト 【再掲】7－（2）	9－（2）多様な地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクト 【再掲】1－（2）	
			8－（3）省力的・効率的な生産体制の整備などによる農林水産業の強化プロジェクト 【再掲】2－（2）	9－（3）オホーツク地域を支える人材の確保・定着推進プロジェクト 【再掲】7－（2）	

オホーツク連携地域「地域づくり推進ビジョン」

Ⅲ 地域重点プロジェクト

2－（1）、3－（1）
食料安全保障を支える農業・水産業・食関連産業の持続的な発展プロジェクト　／推進主体：国　■推進エリア：オホーツク連携地域　（1/2）

2　一次産業関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　2　農林水産業の強化
3　食関連産業関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　3　豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興

【プロジェクトの内容】
我が国の食料安全保障上の懸念が高まりつつあるなか、オホーツクは高い食料自給率と、地域の特色を活かした大規模な畑作や酪農などの農業、サケ・マスに代表される漁業など多様な一次産業が展開されており、我が国の食料安定供給等に大きな役割を担っています。しかし従事者数の減少や高齢化等の生産基盤の脆弱化が懸念されていることから、農業・水産基盤の整備を進めるとともに、物流基盤・物流システムや農山漁村の振興を図ることにより一次産業を下支えし、農水産業の生産力強化を図ります。

プロジェクトの概要	主な実施主体	主な取組	主な実施主体
①農業生産力を強化する生産基盤の整備・確保 ・施設機能の安定的な確保に向けた農業水利施設等の機能保全・整備 ・生産コストを削減する、ほ場の大区画化・農地の利用集積化 ・産地収益力を高める排水改良・用水改良・畑地かんがい施設の整備 ・農地の冠水による農業被害を軽減する排水整備 ・激甚化する水災害から生産基盤を守る治水対策	国、道、市町村、民間	【主な基盤整備】 ○農業　(①) ・国営かんがい排水事業の推進（網走川中央地区、北見二期地区、網走川豊住地区） ・直轄明渠排水事業（常呂川下流地区、斜里飽寒別地区、訓子府北栄地区） ・国営施設機能保全事業（宇遠別川地区）［令和6年度完了］	国
②水産業の生産力を支える水産基盤の整備 ・海洋環境の変化や水産資源の減少等に対応した拠点漁港の生産・流通機能強化 ・持続可能な生産体制の構築に向け、資源の循環利用や漁獲魚種変化への対応の促進及び漁港施設の強靱化	国、道、市町村、民間	・国営農地再編整備事業（津別地区）［令和6年度完了］ ・国営緊急農地再編整備事業の推進（雄武丘陵地区） ・農業用基幹水利施設の長寿命化のための機能診断 ○河川　(①) ・網走川、常呂川、湧別川、渚滑川の治水事業の推進 ○漁港　(②)	
③産業を支える物流基盤の整備と物流システムの維持・効率化 ・農水産物等の輸送を支える高規格道路等の整備 ・輸出入・移出入の拠点となる港湾施設の整備 ・高規格道路から港湾等の物流拠点へのアクセスルート確保	国、道、市町村、民間	・ウトロ地区特定漁港漁場整備事業の推進 ・サロマ湖地区特定漁港漁場整備事業の推進 ・元稲府地区特定漁港漁場整備事業の推進 ○道路　(③) ・旭川・紋別自動車道（遠軽上湧別道路）遠軽IC～上湧別IC（仮称）L=13.8kmの推進	
④グローバル市場の獲得による水産物の輸出拡大 ・高度衛生管理に資する施設の整備	国、道、市町村、民間	・北海道横断自動車道（端野高野道路）北見東IC～美幌高野IC（仮称）L=14.3kmの推進	
⑤農林水産業の持続性を支える農山漁村の振興 ・地域の資源を活かしつつ、多様な主体の連携・協働により活力ある北海道の水産業や漁村の実現に向け、地域マリンビジョンの推進 ・「わが村は美しく－北海道」運動の推進	国、道、市町村	・北海道横断自動車道（女満別空港網走道路（女満別空港IC～網走呼人IC（仮称））L=10.9kmの推進 ・遠軽北見道路（生田原道路）L=5.7km　の推進 ○港湾　(③、④) ・網走港新港地区の防波堤整備事業の推進	
⑥農山漁村の自然環境・景観・文化の保全・継承 ・「わが村は美しく－北海道」運動の推進	国、道、市町村、民間	・紋別港港町地区の老朽化対策の推進 ・紋別港新港町地区の予防保全事業の推進	

オホーツク連携地域「地域づくり推進ビジョン」

Ⅲ 地域重点プロジェクト

２－（１）、３－（１）
食料安全保障を支える農業・水産業・食関連産業の持続的な発展プロジェクト　／推進主体：国　■推進エリア：オホーツク連携地域　（２/２）

プロジェクトの概要	主な実施主体	主な取組	主な実施主体
		【官民共創の取組】 ・中継輸送の推進　（③） 取組内容：物流課題等について、事業者同士がワークショップで話し合える場を提供 推進体制：国、道、民間（トラック協会等） ・地域マリンビジョンの推進　（⑤） 取組内容：将来の水産業振興と地域活性化を図る「地域マリンビジョン」の取組を促進 推進体制：国、道、市町村、漁協等 ・「わが村は美しくー北海道」運動の推進　（⑤、⑥） 取組内容：農山漁村における住民主体の地域活性化活動を支援し、農山漁村の発展に寄与 推進体制：国、NPO法人「わが村は美しくー北海道ネットワーク」、民間	国、道、民間 国、道、市町村、民間 国、ＮＰＯ、民間

オホーツク連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

4－（1）、6－（1）
観光立国を先導する豊かな自然を活かした観光地域づくりプロジェクト　／推進主体：国　■推進エリア：オホーツク連携地域　（1/2）

4　観光関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　4　特色ある豊かな資源を活かした観光の展開
6　文化関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　6　オホーツクの特性を活かした文化・スポーツの振興

【プロジェクトの内容】
オホーツクには、日本を代表する「世界遺産」知床などの自然環境、自然・農山漁村景観、豊富な温泉、ジオパーク、近代の開拓の歴史等、豊富な観光資源を有しています。しかしその資源が広域に分散していること、また道央圏に旅行客が集中していることから、観光地・観光産業を育てるため、交通アクセスの改善や観光地のアクセシビリティの向上により、誘客に向けた安全・安心な受入環境整備を図ります。また多様な主体と協力し、インフラを含めた地域の資源・特性を活かした新たな観光コンテンツや、高付加価値旅行者の誘致を図り、持続可能な観光地域づくりを推進します。

プロジェクトの概要	主な実施主体	主な取組	主な実施主体
①地域の資源・特性を活かした新たな観光コンテンツの創出・拡充 ・かわとまちが一体となった水辺空間による観光地域づくりの推進	国、道、市町村、民間	【主な基盤整備】 ○河川　（①） ・網走かわまちづくりの推進、網走湖呼人地区かわまちづくりの推進	国
②ゲートウェイ機能の強化と地方部への交通アクセスの改善 ・港湾・空港や点在する観光資源をつなぐ高規格道路等の整備 ・港湾の受入機能強化、交通結節機能強化等とともに運輸事業者や観光事業者が一体となった移動の利便性向上	国、道、市町村、民間	○道路　（②） ・旭川・紋別自動車道（遠軽上湧別道路）遠軽IC～上湧別IC（仮称）L=13.8kmの推進 ・北海道横断自動車道（端野高野道路）北見東IC～美幌高野IC（仮称）L=14.3kmの推進	
③多様な主体との連携による地域資源を活用した持続可能な観光地域づくりの推進 ・シーニックバイウェイ「秀逸な道」や「みなとオアシス」等の自然環境・文化や景観と観光が両立した地域との協働による観光地域づくり ・多様な主体の参画による持続可能な観光地域づくりの推進	国、道、市町村、民間	・北海道横断自動車道（女満別空港網走道路（女満別空港IC～網走呼人IC（仮称））L=10.9kmの推進 ・遠軽北見道路（生田原道路）L=5.7km　の推進 【官民共創の取組】 ・網走かわまちづくりの推進、網走湖呼人地区かわまちづくりの推進（①，③） 取組内容：管理用道路を活用して観光施設等を結び川とまちが一体となって地域の活性化を図る 推進体制：網走ウォーターフロント協議会（国、市、観光協会、民間）	国、市町村、民間 国、民間
④観光消費額・観光消費額単価の向上に資する高付加価値な観光の推進 ・世界水準のサイクルツーリズム等による高付加価値旅行者の誘客	国、道、市町村、民間	・地域共創インフラツアーの実施（①、③） 取組内容：「インフラが支えた地域発展の歴史」を柱に、地域と調整しながら関係機関と連携してツアーを実施 推進体制：国、民間 ・環境保全・景観形成（③） 取組内容：観光や環境保全のため、各地で行われる美化活動や花の植え付け、植樹等に協力 推進体制：国、市町村、観光協会、民間等	国、市町村、民間

オホーツク連携地域「地域づくり推進ビジョン」

Ⅲ 地域重点プロジェクト

4－（1）、6－（1）
観光立国を先導する豊かな自然を活かした観光地域づくりプロジェクト　／推進主体：国　■推進エリア：オホーツク連携地域　（2/2）

プロジェクトの概要	主な実施主体	主な取組	主な実施主体
		・地域資源を最大限に活用し、美しく個性的な地域を実現する「シーニックバイウェイ北海道」の推進　（③） 取組内容：地域に暮らす人が主体となり、企業や行政と手をつなぎ、美しい景観・活力ある地域・魅力ある観光空間づくりを行う 推進体制：東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議(国、道、市町村、民間)、層雲峡・オホーツクシーニックバイウェイ（国、道、市町村、民間）	国、道、市町村、民間
		・「みなとオアシス」等の自然環境・文化や景観と観光が両立した地域との協働による観光地域づくり　（③） 取組内容：地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進 推進体制：国、みなとオアシスもんべつ運営協議会（市、民間）、みなとオアシス網走運営協議会（市、民間）	国、市町村、民間
		・オホーツクサイクルルートを生かした世界水準のサイクルツーリズムの推進　（③、④） 取組内容：サイクルツーリズムによる滞在型観光を構築し、サイクリングブランド化を図る 推進体制：アドベンチャーオホーツク推進協議会・オホーツクルート協議会（国、道、市町村、民間）	国、道、市町村、民間
		・安心・清潔なアクティビティ観光の推進の取組（③、④） 取組内容：網走開発建設部が発注する工事現場のトイレなどをサイクリストなどに提供することで 安心・清潔なアクティビティ観光を推進 更に、現場事務所を情報発信・交換の場として提供することや工具の貸出などで魅力あるアクティビティ観光を先導 推進体制：国、民間（網走建設業協会）	国、民間

オホーツク連携地域「地域づくり推進ビジョン」

Ⅲ 地域重点プロジェクト

5－（1）
自然共生社会・循環型社会の形成プロジェクト　／推進主体：国　■推進エリア：オホーツク連携地域　**（1/1）**

5　環境関連プロジェクト　　／《地域のめざす姿》　5　人と自然が共生できる環境重視型社会の形成

【プロジェクトの内容】
河川や湖沼など、オホーツクの豊かな自然環境を保全するとともに、自然が有する多様な機能を利用しながら魅力ある持続可能な地域づくりを進めることが求められています。また、野生鳥獣による産業や生活環境等への被害が深刻化しており、適正な管理等を行いつつ、豊かな環境を守っていく必要があります。さらに、３Ｒ（廃棄物等の発生抑制・循環型資源の再使用・再生利用）＋Renewable（バイオマス化・再生材利用等）の推進が地球温暖化対策計画として位置付けられており、持続可能な形で資源の有効活用が必要となっています。
このため、官民一体となったグリーンインフラの取組の推進や生物多様性の保全、鳥獣被害に係わる総合的な対策により、地域の特性を生かした自然共生社会の形成を図ります。
また、資源を最大限に利活用する循環型社会の形成を図ります。

プロジェクトの概要	主な実施主体	主な取組	主な実施主体
①官民一体となったグリーンインフラの取組の推進 ・河川、湖沼の環境保全対策の推進 ・河川の環境保全に資する土砂・流木対策	国、道、市町村、民間	【主な基盤整備】 ○河川　（①，②） ・網走湖の環境保全対策 ・網走川流域多自然川づくり	国
②生物多様性の保全 ・多様な生息･生育環境を保全･創出する多自然川づくりの推進 ・様々な団体等と連携した緑化・緑地対策の推進	国、道、市町村、民間	○道路　（②，③） ・自生種に配慮した道路の法面緑化 ・防護柵等の被害防止施設の整備	
③鳥獣被害に係る総合的な対策 ・防護柵等の被害防止施設の整備	国、道、市町村、民間	【官民共創の取組】 ・環境保全・景観形成（②） 取組内容：観光や環境保全のため、各地で行われる美化活動や花の植え付け、植樹等に協力 推進体制：国、市町村、観光協会、民間等	国、市町村、民間
④廃棄物等の有効利用 ・建設発生等の有効利用の促進及び普及啓発 ・建設リサイクルの「質」の向上	国、道、市町村、民間		

オホーツク連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

7－（1）、8－（1）
生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靭な国土づくりプロジェクト　／推進主体：国　■推進エリア：オホーツク連携地域　（1/1）

7　暮らし関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　7　安心して暮らせる地域社会の形成
《地域のめざす姿》　8　オホーツク地域への人口定着の推進

【プロジェクトの内容】
気候変動に伴い激甚化する水災害、さらには渇水の頻発化・長期化・深刻化が懸念されている中、あらゆる関係者が連携した流域治水の推進を図ります。
また千島海溝周辺海溝型地震などの巨大地震・津波への備えが急務となる中、大規模災害に対する生産・社会基盤の強靱化を図ります。
人命に関わるような暴風雪や大雪等の冬期災害が激甚化・頻発化しており、冬期に大規模災害が発生した場合、 低温、積雪等により避難、応急・復旧活動等が困難となるといった積雪寒冷地特有の課題があることから、冬期災害や複合災害に対する防災力の強化を図ります。
労働力と担い手不足に対応した、デジタル技術を活用したインフラの維持管理及び技術開発の推進を図ります。

プロジェクトの概要	主な実施主体	主な取組	主な実施主体
①気候変動に伴い激甚化する水災害に対する地域特性を踏まえた流域治水の推進 ・流域治水プロジェクトの推進	国、道、市町村、民間	【主な基盤整備】 ○河川　(①) ・網走川、常呂川、湧別川、渚滑川の治水事業の推進 ○港湾　(②)	国
②大規模災害に対する生産・社会基盤の強靱化 ・道路施設の老朽化対策 ・渡河部の橋梁や河川に隣接する道路構造物の流出対策 ・道路の高架区間等を活用した津波や洪水からの浸水避難対策 ・道路の法面・盛土の土砂災害防止対策 ・市街地等の緊急輸送道路における無電柱化対策 ・橋梁の耐震補強対策の推進 ・港湾における老朽化対策の推進 ・道路・港湾等の広域ネットワークの強靱化 ・道路、港湾・漁港、航路、空港等が連携した啓開 ・大規模災害に備えた漁港施設の整備及び耐災害性強化	国、道、市町村、民間	・網走港新港地区の防波堤整備事業の推進 ・紋別港港町地区の老朽化対策の推進 ・紋別港新港町地区の予防保全事業の推進 ○道路　(②、③、④) ・一般国道238号（紋別防雪）［令和６年度全線開通］ ・国道39号電線共同溝等の無電柱化対策の推進 ・国道39号交通安全対策等の交通安全対策の推進 ○漁港　(②、④) ・ウトロ地区特定漁港漁場整備事業の推進 ・サロマ湖地区特定漁港漁場整備事業の推進 ・元稲府地区特定漁港漁場整備事業の推進 ・網走管内地区特定漁港漁場整備事業の推進	
③冬期災害や複合災害に対する防災力の強化 ・災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策 ・地吹雪等の冬期交通障害を解消するため防雪対策の推進 ・防災関係機関の連携強化 ・地方公共団体の防災力向上 ・地域との協働による防災対策の取組 ・救援物資や災害対策機械の提供 ・広域的な支援体制の確立 ・緊急輸送ルートになる道路網等の整備	国、道、市町村、民間	【官民共創の取組】 ・流域治水プロジェクトの推進　(①) 取組内容：気候変動に伴い頻発・激甚化する水害・土砂災害等に対し、流域のあらゆる関係者で水災害対策を推進する 推進体制：国、道、市町村、民間（流域治水オフィシャルサポーター等） ・教育機関等との協定等による連携強化と、地域防災力や防災意識向上のための取組　(③) 取組内容：地域防災力の向上を図る活動への参加等 推進体制：国、道、市町村、学術機関、学校、民間等	国、道、市町村、民間 国、道、市町村、民間
④デジタル技術を活用したインフラの維持管理及び技術開発の推進 ・ＩＴを活用した道路管理体制の強化対策 ・デジタル技術等を活用した漁港施設の維持管理の推進	国、道、市町村、民間		

オホーツク連携地域「地域づくり推進ビジョン」

Ⅲ 地域重点プロジェクト

9－（1）
北海道型地域構造を支え、世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成プロジェクト　／推進主体：国　■推進エリア：オホーツク連携地域（1/1）

8　社会基盤関連プロジェクト　　／《地域のめざす姿》　9　暮らしや産業を支える交通ネットワークの形成

【プロジェクトの内容】
農業・漁業に係る生産の場であり、さらには観光、脱炭素化に資する森林資源、豊富な再生可能エネルギー導入ポテンシャル、その他多面的・公益的機能を提供する、オホーツクという「生産空間」での生活を守るために、広域分散型社会を支える交通ネットワークの形成を図ります。
また長距離・長時間輸送に伴う農水産物等の貨物の品質・鮮度管理、貨物量の季節変動とそれに伴う片荷輸送等が課題となっていること、運送事業者の減少やドライバー不足等により輸送力の低下が深刻化していることから、シームレスかつ持続可能な物流ネットワークを実現するため、産業を支える物流基盤の整備と物流システムの維持・効率化を図ります。

プロジェクトの概要	主な実施主体	主な取組	主な実施主体
①広域分散型社会を支える交通ネットワークの形成 ・物流・観光・生活・医療を支える交通ネットワークの整備 ・ミッシングリンクの早期解消等のいまだ接続されていない都市間や地方部を接続する高規格道路、港湾施設の交通ネットワーク整備 ②産業を支える物流基盤の整備と物流システムの維持・効率化 ・農水産物等の輸送を支える高規格道路の整備 ・輸出入・移出入の拠点となる空港・港湾施設の整備	国、道、市町村、民間 国、道、市町村、民間	【主な基盤整備】 ○道路　（①、②） ・旭川・紋別自動車道（遠軽上湧別道路）遠軽IC～上湧別IC（仮称）L=13.8kmの推進 ・北海道横断自動車道（端野高野道路）北見東IC～美幌高野IC（仮称）L=14.3kmの推進 ・北海道横断自動車道（女満別空港網走道路（女満別空港IC～網走呼人IC（仮称））L=10.9kmの推進 ・遠軽北見道路（生田原道路）L=5.7km　の推進 ・一般国道238号（紋別防雪）［令和６年度全線開通］ ・国道39号電線共同溝等の無電柱化対策の推進 ・国道39号交通安全対策等の交通安全対策の推進 ○港湾　（①、②） ・網走港新港地区の防波堤整備事業の推進 ・紋別港港町地区の老朽化対策の推進 ・紋別港新港町地区の予防保全事業の推進 【官民共創の取組】 ・中継輸送の推進　（①、②） 取組内容：物流課題等について、事業者同士がワークショップで話し合える場を提供 推進体制：国、道、民間団体（トラック協会等）	国 国、道、民間

オホーツク連携地域「地域づくり推進ビジョン」

Ⅲ 地域重点プロジェクト

1－（1）、3－（2）
豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興プロジェクト　／推進主体：道　■推進エリア：オホーツク連携地域　（1/1）

1　地域イメージ関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　1　オホーツクイメージの効果的な発信
3　食関連産業関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　3　豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興

【プロジェクトの内容】
オホーツクは豊富で良質な農水産物を活用した食品工業が主要産業であり、食品工業の製造品出荷額は14（総合）振興局の中で３位となっていますが、食品工業付加価値率は全道平均値を下回っている状況にあります。このため、多様な主体の連携を促進し、地域の農水産物を活用した新たな製品の開発や付加価値の向上に向けた取組を強化するとともに、国内外へ販路を拡大するなどして、食関連産業の振興を図ります。

プロジェクトの概要	実施主体	主な取組	実施主体
○　多様な主体の連携促進 ・産学官金の連携によるオホーツク地域の食関連産業人材の育成や食のブランド力の強化 ・農商工連携や６次産業化の推進 ○　付加価値の高い商品の開発や起業･創業の促進 ・地域の農水産物を活かした起業・創業の促進や雇用の創出 ・全国有数の生産力を誇る小麦、玉ねぎなどの農畜産物の高付加価値化 ・地域の大学や研究機関などとの連携による加工・鮮度保持技術等の開発 ○　良質な農水産物の販路拡大 ・観光とも連動した食の地域ブランドの形成・発信 ・オホーツクフェアの開催などによる道内外への販路の拡大 ・安全・安心なオホーツク産農水産物のＰＲ、ブランド化などによる海外を含めた販路の拡大 ・食育の推進による地産地消の促進 ・ＥＵ－ＨＡＣＣＰ認定取得など海外に対応した衛生管理体制の確立 ・加工食品等の輸出に向けた体制の整備	国、道、市町村、民間、試験研究機関、教育機関、金融機関	【関連する主な基盤整備】 該当無し	

オホーツク連携地域「地域づくり推進ビジョン」

Ⅲ 地域重点プロジェクト

1－（2）、4－（2）、6－（2）、9－（2）
多様な地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクト　／推進主体：道　■推進エリア：オホーツク連携地域　（1/1）

1	地域イメージ関連プロジェクト	／《地域のめざす姿》	1　オホーツクイメージの効果的な発信
4	観光関連プロジェクト	／《地域のめざす姿》	4　特色ある豊かな資源を活かした観光の展開
6	文化関連プロジェクト	／《地域のめざす姿》	6　オホーツクの特性を活かした文化・スポーツの振興
8	社会基盤関連プロジェクト	／《地域のめざす姿》	9　暮らしや産業を支える交通ネットワークの形成

【プロジェクトの内容】
　オホーツクは、知床世界自然遺産・流氷をはじめとした優れた自然や、花、食、温泉、国宝「北海道白滝遺跡群出土品」等の文化財といった世界に誇る多様な観光資源を有しており、オホーツクＡＩ活動と連動してその魅力を道内外へ効果的に発信するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響等により落ち込んだ観光需要が回復傾向にある中、地域の有するポテンシャルを活かし、新たな需要の獲得に向けて観光の振興を推進していきます。
　さらに、冷涼な夏や日照率が高いという気候特性を活かし、スポーツ合宿の誘致など、オホーツクへの来訪促進の取組を総合的に展開していきます。

プロジェクトの概要	実施主体	主な取組	実施主体
○　オホーツクの魅力の効果的な発信 ・「オホーツクエリアアイデンティティー（オホーツクＡＩ）」の推進 ・様々な地域資源・特色を活かした取組や管内関係者が一体となった情報発信の推進 ・古代遺跡群を体験する機会の創出や効果的な情報発信 ・オホーツクの優れた自然環境や農林水産物など食と観光の一体的な観光ＰＲの推進 ・市町村や関係団体等との連携による国内外への観光プロモーションの展開 ○　体験型・滞在型観光の推進 ・国の「広域観光周遊促進事業」などとの連動による地域資源を活用した広域観光ルートづくり ・優れた自然環境や農林水産業、食、オホーツクの特性を活かしたアドベンチャーツーリズムなどを取り入れた体験型・滞在型観光の推進 ○　国内外観光客の受入体制づくりに向けた取組の推進 ・管内の多言語マップの作成やパンフレットのデジタル化、観光地等における多言語での情報提供の促進 ・北海道知床世界自然遺産条例に基づく知床の保全や適正な利用の推進 ・市町村や関係機関等との連携による国内外からの誘客の取組の推進 ○　スポーツ合宿などの誘致に向けた取組の強化 ・市町村や民間企業と連携した情報発信や協議会活動の強化 ・共同プロモーションによるスポーツ合宿誘致活動の強化 ○　公共交通の利用促進や維持・確保に向けた取組の推進 ・関係者間の連携や地域の意識醸成による公共交通の利用促進や維持・確保に向けた取組の推進 ・利便性の高いシームレスな交通サービスの充実 ・国際線など新規航空路線の誘致に向けた取組の推進	国、道、市町村、民間	【関連する主な基盤整備】 ○高規格道路の整備 ・北海道横断自動車道の整備促進 ・旭川紋別自動車道の整備促進	

オホーツク連携地域「地域づくり推進ビジョン」

Ⅲ 地域重点プロジェクト

２－（２）、８－（３）
省力的・効率的な生産体制の整備などによる農林水産業の強化プロジェクト　／推進主体：道　■推進エリア：オホーツク連携地域　（１/１）

２　一次産業関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　２　農林水産業の強化
７　暮らし関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　８　オホーツク地域への人口定着の推進

【プロジェクトの内容】
大規模で生産性の高い畑作や酪農、国内有数の生産力を誇るホタテ・サケの栽培漁業、カラマツやトドマツなどの豊富な森林資源の循環利用などを背景に、オホーツクの農林水産業は全道でも有数の生産額を誇っており、今後とも地域の基幹産業として発展していく必要があります。
このため、ＩＣＴを活用した高収益で安定的な生産体制の整備や担い手となる人材の育成・確保、労働負担の軽減や労働力不足解消に向けたスマート農林水産業の推進などの取組を展開し、農林水産業の更なる強化を図ります。

プロジェクトの概要	実施主体	主な取組	実施主体
○　高収益で安定的な生産体制の整備 ・農林水産業に係る生産基盤の整備推進 ・地域に適した輪作体系の確立及び生産性向上・低コスト技術の開発と普及促進 ・病害虫対策の研究の推進や抵抗性品種の普及拡大 ・自給飼料増産対策及び公共牧場の活用を含めた放牧の推進 ・ＩＣＴの活用等スマート農業の推進や作業の外部委託・組織化による農業経営の効率化 ・クリーン農業、有機農業などの環境保全型農業、ＧＡＰ等の普及拡大と耕畜連携の推進 ・「伐ったら植える」の徹底等やドローン等ＩＣＴ技術を活用した森林資源の適切な管理の推進 ・機械化や作業システムの見直し等による森林施業の低コスト化 ・屋根つき岸壁、取排水施設など衛生管理に配慮した漁港整備の推進 ・海域の特性に応じた栽培漁業の推進 ○　担い手の育成・確保 ・担い手の確保に向けた農林水産業が一体となった取組の推進 ・地域農業や地域づくりのリーダーの育成及び女性農業者の参画促進 ・担い手への農地集積や法人化・協業化等の一体的な推進 ・外国人材の受入拡大に向けた環境整備 ・北の森づくり専門学院や地域の関係者と連携した林業担い手確保・育成に向けた取組の推進 ○　オホーツク産木材・木製品の利用促進 ・オホーツク産木材・木製品の首都圏などでの利用促進 ・集成材や乾燥製材などの加工・流通体制の確立と新技術・新製品の実証・普及 ・木育活動を通じた森林づくり・木材利用の理解促進 ・HOKKAIDO WOODのブランド力強化に取り組むとともに、公共施設等への道産木材の需要拡大を推進	国、道、市町村、民間、試験研究機関、教育機関、金融機関	【関連する主な基盤整備】 ○農作物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備 ・水田・畑・草地や農業用施設の整備 ○林産業の経営体の育成や体質強化を図るための施設の整備 ・林業の生産施設や木材加工施設の整備促進 ○健全な森林の整備と保全の推進 ・森林の整備促進 ○水産物供給基地としての漁港・漁場づくり ・漁港・漁場施設の整備及び維持管理 ○水産物の品質管理を高度化する施設の整備 ・衛生管理・品質管理の高度化を図る漁業施設の整備	

オホーツク連携地域「地域づくり推進ビジョン」

Ⅲ 地域重点プロジェクト

5－（2）
豊かで優れた自然と共生する脱炭素型の地域づくり推進プロジェクト　／推進主体：道　■推進エリア：オホーツク連携地域　（1／1）

5　環境関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　5　人と自然が共生できる環境重視型社会の形成

【プロジェクトの内容】
将来にわたり人々が安心して暮らせる持続可能な地域を形成するため、知床世界自然遺産や流氷などオホーツク地域が誇る豊かで優れた自然環境を保全し、次世代に継承するとともに、地域に賦存するバイオマス資源などを有効に活用した再生可能エネルギーの利活用、全道森林面積の14％を占める森林の適切な整備や森林資源の循環利用などを推進することにより、自然との共生を図りながら、持続可能な脱炭素型の地域づくりを進めていきます。

プロジェクトの概要	実施主体	主な取組	実施主体
○　豊かで優れた自然環境の保全と継承 ・北海道知床世界自然遺産条例に基づく知床の保全や適正な利用の推進（再掲） ・知床世界自然遺産の登録地域へのマイカー等の乗入規制による環境負荷の低減 ・オホーツク流氷トラスト運動等を通じた環境保全活動の普及啓発 ・エゾシカ捕獲の推進やヒグマによる人身被害等の防止 ○　地域資源を活かした「ゼロカーボン北海道」の推進 ・管内市町村のゼロカーボンシティの表明促進 ・脱炭素型のライフスタイル・ビジネススタイルへの転換に向けた普及啓発 ・林地未利用材や家畜排せつ物を活用したバイオマスや太陽光など再生可能エネルギーの導入促進とエネルギーの地産地消の推進 ・バイオマス利用に向けた研究・開発への連携・支援 ・「伐ったら植える」の徹底等やドローン等ＩＣＴ技術を活用した森林整備の適切な管理の推進（再掲） ・森林づくり・木材利用の理解促進（再掲）	国、道、市町村、民間、試験研究機関、教育機関	【関連する主な基盤整備】 ○自然豊かな水辺環境の整備・保全 ・環境に配慮した河川の整備 ○健全な森林の整備と保全の推進（再掲） ・森林の整備促進 ○リサイクル・廃棄物処理施設の整備 ・資源の循環的利用による脱炭素・循環型社会の構築に向けた施設整備の促進	

オホーツク連携地域「地域づくり推進ビジョン」

Ⅲ 地域重点プロジェクト

7－（2）、8－（2）、9－（3）
オホーツク地域を支える人材の確保・定着推進プロジェクト　／推進主体：道　■推進エリア：オホーツク連携地域　（1/1）

7	暮らし関連プロジェクト	／《地域のめざす姿》	7　安心して暮らせる地域社会の形成
7	暮らし関連プロジェクト	／《地域のめざす姿》	8　オホーツク地域への人口定着の推進
8	社会基盤関連プロジェクト	／《地域のめざす姿》	9　暮らしや産業を支える交通ネットワークの形成

【プロジェクトの内容】
管内においては、出生数が死亡数を下回る自然減とともに、都市部などへの転出超過が依然として続くなど、人口減少を巡る環境は依然として厳しい状況にあります。
そのため、オホーツクの豊かな農林水産資源を活かした地域産業力の向上や、地域情報の発信、優れた自然環境をはじめとした多様な地域資源などを活かすことにより、オホーツクの魅力を向上させ、産業・雇用の創出をはじめ、関係人口の創出・拡大や移住・定住の促進を図ります。

プロジェクトの概要	実施主体	主な取組	実施主体
○　移住・定住の促進に向けた取組の推進 ・地域の特色を活かしたワーケーションなどによる関係人口の創出・拡大や移住・定住の促進に向けた取組の推進 ・移住・定住関係機関と連携した魅力ある地域情報の発信 ○　若年層の地元定着促進に向けた取組の推進 ・市町村や関係団体と連携した地元愛の醸成に向けた取組の推進 ・地元企業展示会などによる新規学卒者等の地元就労、離職防止及び職場定着の推進 ・地域の農水産物を活かした起業・創業の促進や雇用の創出（再掲） ○　外国人材の受入拡大を見据えた多文化共生の推進 ・関係機関との連携による多文化共生社会の形成に向けた取組の推進 ・受入環境の整備や定着に向けた取組の推進 ○　担い手の育成・確保（再掲） ・担い手の確保に向けた農林水産業が一体となった取組の推進 ・地域農業や地域づくりのリーダーの育成及び女性農業者の参画促進 ・担い手への農地集積や法人化・協業化等の一体的な推進 ・外国人材の受入拡大に向けた環境整備 ・北の森づくり専門学院や地域の関係者と連携した林業担い手確保・育成に向けた取組の推進 ○　公共交通の利用促進や維持・確保に向けた取組の推進（再掲） ・関係者間の連携や地域の意識醸成による公共交通の利用促進や維持・確保に向けた取組の推進 ・利便性の高いシームレスな交通サービスの充実 ・国際線など新規航空路線の誘致に向けた取組の推進	国、道、市町村、民間、試験研究機関、教育機関、金融機関	【関連する主な基盤整備】 ○高規格道路の整備（再掲） ・北海道横断自動車道の整備促進 ・旭川紋別自動車道の整備促進	